

テーマ:地域と共に歩む看護教育の実践—3年間を通しての地域連携教育—

1) カテゴリー:④地域連携

2) 学校概要:上尾市医師会上尾看護専門学校 埼玉県上尾市原市 3494-4

3年課程、1学年40名定員、3年修業



教育理念

人々が健康な生活を営むために必要な地域医療の担い手として活躍できる質の高い看護師を育成する。

私たちの学校では、教育活動のフィールドである原市地区の地域住民との連携教育を通じて、学生たちが地域と共に学び、人々の生活に寄り添った看護を実践する力を養うことを大切にしています。

地域と暮らしの理解(1年次前期)

学校周辺地域でのフィールドワークを行い、住民や地域の関連機関とのインタビューを通して生活の実態を学んでいます。この過程で、学生は地域の課題と魅力を直に感じています。



老年看護演習(1年次後期)

自治会や社会福祉協議会の協力を得て、近隣の単身高齢者への見守り訪問を実施しています。1年次10月から2年次の7月まで約9か月にわたり見守り訪問を継続することで、学生はリアルなコミュニケーションを体験し、高齢者の豊かな人生経験から様々なことを学んでいます。また、高齢者像が変化し、その人それぞれの生活背景や個性についてより深い理解を得ることができます。



地域・在宅看護演習(2年次前期)

1年次から見守り訪問を継続したことの学びから、高齢者の健康課題と強みを見出し、その人らしく地域で生活するための提案を地域住民に向けて発信します。学生は地域での生活を支える具体的な方法を学び、発信力を養います。



地域・在宅看護論実習Ⅲ(3年次前期)

上尾市の「通いの場」で行われている、住民主導型の運動教室に参加する実習を行います。高齢者の健康意識の高さを理解し、地域の互助の力が健康水準の向上に寄与していることを学びます。これらの取り組みを通じて、地域の生活を理解し、看護が生活の中に根差す必要性を実感しています。

災害看護(3年次前期・後期)

学校を避難所と見立て、避難所設営、運営訓練を実施し、地域住民と共に災害時の備えを体験しています。避難所での生活を模擬体験することで、学生たちはリアルな災害対応を学び、住民からのフィードバックをもとに学びを振り返る機会を得ています。



特別活動

1年次から、地域の夏祭りや高齢者向けのスマホ教室などのボランティア活動に参加し、学校祭では地域住民との交流の場を提供し、地域と学校の相互交流を深め、信頼関係を築いています。



3年間を通して地域住民との密接な連携を図ることで、学生たちは生活者としての対象を深く理解し、入院前や退院後の生活をより具体的にイメージする力を身につけています。また、学生は地域社会と共に成長し、看護の未来を切り拓いています。